

足大付B 男子団体V

弓道

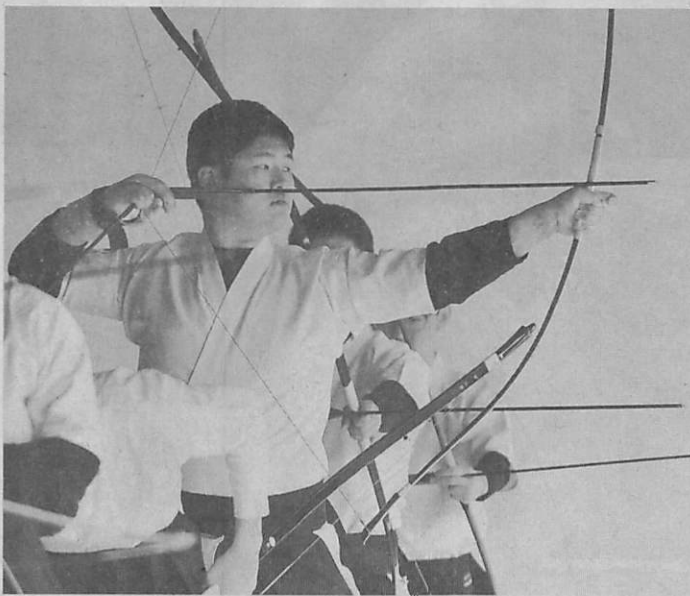
女子は宇女Cに栄冠

県高校
新人スポーツ

21、22日の両日、宇都宮
県高校新人スポーツは

市のユウケイ武道館ほか
で弓道、サッカー、バレー
ボール、ラグビーを行
った。

弓道の男子団体は足利



弓道男子団体を制した足大付。弓を引く大前の坂本ユウケイ武道館

大付Bが優勝、個人は後藤海蕾(足利大付)が競射の末に制した。女子団体は宇都宮女Cが頂点。個人は桜井理緒(宇都宮女)が栄冠を手にした。

ラグビーは準決勝2試合を行い国学院栃木と佐野日大が決勝に進出。サッカーは2回戦15試合を行い、矢板中央、足利などが3回戦へ勝ち進んだ。

弓道男子団体優勝の足大付



大付Bが優勝、個人は後藤海蕾(足利大付)が競射の末に制した。女子団体は宇都宮女Cが頂点。個人は桜井理緒(宇都宮女)が栄冠を手にした。

「三本の矢」三者三様 足大付B

まとまれば何倍も強くなる「三本の矢」の教えは、決して単純な話ではない。

弓道男子団体の足利大付は、3人が心一つにまとまるのではなく三者三様に心技体を整理。それぞれ独自の戦いに専念した結果が頂

点へとつながった。

1回目はチームで12射8中。「良かったので何も考えなかった」と話す後藤海蕾の4射4中に対し、坂本翔が1中、山口浩克輝が3中。1位で折り返したとはいえ「プレッシャーを感

スポット

「三本の矢」という坂本らは2回目に立って直しを迫られた。坂本が復調のヒントを得たのは仲間が撮影した1回目の動画。「射るときに右肩の位置がいつもより上だった」ことに気づいた。動

作を修正して臨んだ2回目は一変。全ての矢が狙いを外さず、的を射抜く心地よい音が響き渡った。山口は心を奮い立たせて「良かった」と胸をなで下ろした坂本は次々視線を向けた。「県大会を外した分のリベンジをするため東日本大会で優勝したい」。戦い方は違っても勝利へのこだわりは3人共通だ。(星国典)



後藤海蕾

団体の優勝、準優勝の両校は3月25、26日に青森県で開かれる第22回東北日本高校大会に出場。<ラグビー>(国学院栃木高グラウンド)

準決勝

佐野日大 96(494・107) 宇工・足付 野・足大

国学院栃木 90(474・100) 作 新

<サッカー>(足利市西部多目的運動場ほか)

<2回戦> 白楊4-0佐野東

那須拓陽2-1益子芳星、宇工3

1-1石橋、国学院栃木1-1(PK

4-3) 宇都宮、宇南1-1(P

K5-4) 鳥山、矢板中央19-0

鹿沼東、真岡3-0矢板東、足利

4-0作新、宇短大付3-0足利

磯南、壬生2-0益子芳星、宇東

2-0高根沢、足短大付2-0小

山西、栃女2-0黒羽、那須拓陽

2-0佐野松核、佐野2-0黒磯、

小山南・栃農2-1鹿沼、足利2

1-0鹿沼南、大田原女2-0清陵

宇短大付2-0小山、宇南2-0

三川・小山北校・足利南、宇女

2-0佐野東、真岡北陵2-0宇

北、さくら清修2-0鹿沼東、小

山城南2-0今市、矢板東2-0

栃木翔南

足利大付B・後藤海蕾

(弓道男子個人を競射も

含めて皆中で制し)「狙

っている所にきれいに矢

が当たってくれた。自分

た。東日本大会も今回のように皆中したい